



せんだんの木



令和7年5月16日 校長 各務 至

日本人になっていく小学校

- 1位 ハンカチ 12
- 2位 鉛筆等の文房具 4
- 3位 衣類 6
- 4位 帽子 2
- 4位 ボール 2

これは、「学校での落とし物の多い順」です。ふと、「落としたことに気付いているのかなあ。」「なくなって困っていないのかなあ。」「家でしかられていないのかなあ。」などと、思いを巡らせます。そこで、分かっていることを少し整理してみました。

1 落とす場所

ハンカチは、トイレ ⇄ 手洗い場 ⇄ 廊下 ⇄ 教室の動線上、玄関付近で見られる。低学年に多く、ポケットが小さいことが原因かもしれない。衣類（上着）は、朝礼台付近が多く、運動して暑くなって脱いで、そのまま忘れるよう。

2 記名の有無

- ・無記名がほとんど。衣類にはタグに書いてあることもある。

3 取りに来る子

- ・8割ほどは持ち主が見つからない。1週間過ぎると持ち主が現れることはなく、落としたことに気づいていないか、あきらめてしまうように思われる。

やはり、記名があれば持ち主にほぼ届きます。ご家庭と協力して、物を大切にすることを育みつつ、自分のことは自分でできるよう、自己管理の力も付けていきます。このことを、拾った側に視点を移してみると、子供たちは落とし物を実によく届けてくれますし、困っている人のことを思う気持ちに溢れているようです。先日、観光で日本を訪れている外国人が「落とした財布やスマホが持ち主に戻るなんて信じられない！」と、あるテレビ番組で言っていたことを思い出しました。

他にも、「並ぶ」という行為も小中学校ではよく見られ、本校でも登校や体育、健康診断等の時に整列することがあります。このことも、順番を守って互いが気持ちよく過ごせるように努めている日本社会のよさが、小さい時から育まれているのかもしれない。



映画「小学校～それは小さな社会～」を制作した山崎エマ監督が、とあるインタビューで次のようなことを話していました。「海外で日本の小学校の話をする時、「掃除を自分でするの？給食も自分で配膳するの？」って驚かれたり、何度も練習して本番を迎える運動会や音楽祭のことも、「何それ。」って言われたり、自分が当たり前をやってきたことが海外とは違うことに気付かされる。」と。

子供たちが、多様な文化を尊重し合いながら、日本の教育で身に付けたよさを生かして社会で活躍されることを願うばかりです。「落とし物」から、ずいぶん話を広げてしまいました。

先生たちも学んでいます「救命救急講習」

5月2日(金)の放課後、消防署の方に来校いただき、「いち、に、さん、し、ご、ろく、ひち、はち、く、じゅう」と、先生たちは心臓圧迫の回数を声に出して数えながら、マネキンを使って心肺蘇生の訓練に励みました。併せて、AEDの使い方も学びました。

この講習は毎年実施しており、いつでも誰でも対応できるように心がけていますが、何もないことを願い安全な学校生活に努めてまいります。

AEDクイズ ※答えは下にあります。

1 右の写真は本校のAEDですが、どこに設置しているでしょう。

- ① 体育館の出入口
- ② 職員玄関の出入口
- ③ 給食室の出入口

2 AEDとは何の略でしょう。



第1回支援推進委員会

5月8日(木)、第1回支援推進委員会を開催しました。この会は、学校運営協議会を母体として、学校と地域の皆さんとで力を合わせて学校運営に携わる、いわゆる実働部隊になります。この会では、今年度の活動計画等が確認されましたが、すでに始まっている活動を紹介します。

○見守り活動

見守り隊のみなさんが、子供たちの安全な登下校のために、毎日見届けてくださっています。

○さつまいもづくり

6/12の苗植えに向けて、畝づくりや雑草除けのマルチシート張り等の準備を始めています。

○野菜作り(2年生、おひさま)

野菜作り名人の方に教えていただきながら、トマト、ピーマン、なす等の苗を植えました。

このように、地域の方々に支えられて学んでいることも、子供たちに伝えていきたいと思えます。



(Automated External Defibrillator)

2 自動体外式除細動器

② 1

AEDクイズの答え